



VOL. 21 No.2 The University of the Ryukyus Library Bulletin. 1988. 6. 20

「てえげえ」主義の功罪

大城常夫

ウチナンチュという人種の行動原理を一言でいえば、「てえげえ」に集約されるのではないかと思う。「てえげえ」は「おおらか」で、小さいことにこだわらない楽観的な考え方や行動を意味する場合と、「中途半端」、あるいは「ルーズ」で徹底してやらないことを指す場合がある。「てえげえ」はこうしたニュアンスをすべてこめた含蓄のある言葉なのだ。ウチナンチュの考え方や行動、おおげさにいえば人生観は、この「てえげえ」主義に象徴されているのではないか。以下、私の皮相的な観察による、独断と偏見による「てえげえ」主義の功罪を話しの種に提供する。

それが生活の中で端的に表われているのが「オキナワ・タイム」の生活のリズムだ。それは決められた時間に遅れることだが、取り返しのつかない時間のロスではなく、誤差の範囲というか、修正可能な「遊び」、「ゆとり」なのである。自動車のハンドルにある程度の「遊び」があると運転

目次

「てえげえ」主義の功罪 (大城常夫)	1	図書館事情.....	17
九州地区大学図書館協議会について.....	3	ブラウジング・コーナー.....	18
図書館業務電算化通信 No 8	5	図書館運営委員会 委員名簿.....	19
図書館業務電算化日録.....	6	医学部分館コーナー.....	20
外国大学案内カタログコーナーの案内.....	7	お知らせ.....	21
基地内英文資料.....	9		
新着図書案内.....	13		

が楽なように、人生にも、毎日の生活にも「遊び」があれば心にゆとりができて楽しいのではないか。ウチナンチュはそのゆとりを身につけているといえる。たしかに現代社会、とくに都市社会や工業社会は秒単位で人間までも動かされるコンピューター社会になりつつあるが、こうした社会は効率的で物質的豊かさは生みだすだろうが、反比例して心の豊かさは失われていくように思う。だから、技術的に秒の世界、ミクロの世界を制御すればするほど「てえげえ」の世界を欲するのである。「てえげえ」は産業でいえば昔の農業社会のリズムで、朝起きて天気を見て働くかどうか決める農夫の生活リズムである。私は地域調査の折、山形県大江町で「オオエ・タイム」があるのを見た。四国には「シコク・タイム」がある。つまり日本の農村にはかつてどこにでもあった生活リズムが「オキナワ・タイム」なのである。だが依然として頑固に保持しているのは沖縄だけではないか。

「てえげえ」の別の側面だと思うが、ウチナンチュは競争に淡泊なところがあり、序列をつけるのが好きではないようだ。日本人は一般に勝負ごとが好きで、何もかも序列をつけたがる。「日本一」や「どこそで一番」に興味を示す。たとえば、最近の青函トンネル、瀬戸大橋フィーバーに見られるように、「一番」に渡るため一週間以上も前から袋毛布で寝泊りして席取りを競う。たしか沖縄での海洋博の際も「一番」の入場者はウチナンチュではなかった。ウチナンチュは順位にあまりこだわらない。そういったことには価値を見い出さない人種のようなのである。それは、家族が集まったときの座る位置や順番、あるいは村や会社といった社会でのはっきりした序列はなく、せいぜい学校での席次ぐらいのもので、序列を育てる社会訓練の場はそれほどないことに起因するかもしれない。

沖縄の高校野球が甲子園でせいぜいベスト8どまりなのは、「てえげえ」が根っこにあるからではないか。パワー、技術とも孫色が無いのに勝てないのは、優勝することを最高の目的に設定できないからだ。ピンチになっても監督はニコニコしている。生徒をリラックスさせるための計算づくの演技とは思えない。勝とうが負けようが「てえげえ」に考えていることからくる本当の笑みなのである。生徒にも絶対勝たねばとの意識は読みとれない。やはり生活からくる「てえげえ」は一朝一夕にはなくならないのであろう。だから甲子園の優勝は100年先の話しかもしれない。

さて、「てえげえ」主義も生活のリズムとしては人間的でよいのだが悲劇を生み出す場合もある。たとえば、経済は「てえげえ」の論理が通用しない。沖縄での倒産の最大の理由は放漫経営である。なかには、他社を援助するために融通手形を乱発して自らも倒産して世間を騒がせたT会社もある。また戦後のボリビア移民にも「てえげえ」の悪いところがでている。われわれの面接調査では、当時、移民先のボリビアについて少しでも知っている人は37%、なんの知識もなかった人は64%にも達している。ボリビアについて知っている人でも先輩の断片的な話しや宣伝映画の知識程度で、入植地についての具体的な状況は何も知っていなかったのである。それでも50haの土地がもらえるということで移民としてボリビアに渡った。たしかに土地は無償でえられたが、入植地の「うまま耕地」はすぐ農業のできる土地ではなく、原始林に覆われた密林だったのである。おまけに、乾期には5キロ先のリオ・グランデ(川)に水を求め、雨期には氾濫に見舞われる熱帯低地である。密林を伐開して農作物をつくっても市場となる都市への道路もないひどいところであった。やがて原

因不明の熱病で移住先は大混乱し、15人の犠牲者を出した。そして、新たな開拓先を見つけるため放浪せねばならなかったのである。実に筆舌につくしがたい艱難辛苦をなめた移民は、妻や幼い子供をかかえた家族移民であった。自分一人の人生ばかりでなく、子供の未来を託する移民であったはずであるが、移住先は密林であったのである。私もその跡を踏査してみたが今だに道らしい路のない未開の地であった。なぜこのようなひどいところに来たのか。同じ面接調査では、移民の動機は、「海外へのあこがれ」、「海外雄飛」、「大農場経営」という夢と希望をもって応募した人が42%を占めた。「呼び寄せ」31%、「米軍統治」2%、「貧困」が8%となっている。移民は移住先に夢と希望を託しているにもかかわらず、移住先の状況については精確な情報のないままの家族移住だったのである。現在のような情報網が発達していない当時であるが、琉球政府の計画移民としては無謀な計画としかいいようがない。米国政府も移住地調査をさせているが、正確な情報が移住者に届いていなかったのではないかと。また移住者の側にも、移住先については「てえげえ」に考えていたことがわかる。「てえげえ」主義がここでは裏目にでたわけだ。

さて、「てえげえ」主義のよってくるころは何か。一つは農業社会だ。沖縄は戦前の農業社会から一足飛びに工業社会を経ずにサービス経済中心の経済に移行した。だから時間や秩序に厳しい工業社会の経験が今だにない。このことが「てえげえ」を生きながらえさせている。二つ目は、亜熱帯の気候だろう。南米や東南アジアを見ても、暑いところでは生活リズムはゆるやかだ。自然の法則にしたがって動く方が理にかなっている。最後に一番重要な要因は、「あの世」観ではないか。人間が「この世」だけで生きず、「あの世」でも生き、この世とあの世と往来できるという祖先崇拜の信仰が根本にある。だから現世のことにあまりこだわる必要はない。ウチナンチュが経済的刺激にあまり敏感でないのは「あの世」観のせいではないかと思う。経済的損得や、序列などは、ほんとに「あの世」まで生きる人生にとってはほんとに些細なことにすぎないからだ。

(おおしろ つねお：法文学部助教授・経済政策)

九州地区大学図書館協議会について

昭和63年度九州地区大学図書館協議会は、4月21日(木)、22日(金)琉球大学の当番館により、国公立大学の各部会がパシフィックホテル沖縄で、全体会議が琉球大学学生会館で開催された。参加館は国立15大学、公立7大学、私立24大学、計46大学(85名)であった。

第18回九州地区国立大学図書館協議会は、21日13時から「パシフィックホテル沖縄」において、九州地区15国立大学の全ての図書館から38名の参加者があり、下記の7議題について討議が行われた。

- 1、学術情報システム構築に対する対応策について
- 2、九州地区における目録システム講習会(地域講習会)の開催について

学術情報システムについては、すでにNCとの接続を完了している大学から接続の現状報告があった。目録システムの開催については、地域講習会を含め各大学で対応すべき問題であるが、九

州大学で5月中旬に学術情報センターと共催で講習会を実施する計画をもっているの、その結果をみて中部地区、南部地区での対応を検討することになった。

3、人事院勧告の「4週6休制」に関する、いわゆる「閉庁方式」に対する図書館サービスのあり方について

図書館は一般の事務部とは異なり、利用者へのサービス上、客観的には閉庁方式はなじまない。閉庁方式への対応については、国立大学図書館協議会に人的予算措置等の審議をお願いすることになった。

4、ファクシミリの図書館活動利用について一文献複写物の送受を中心に一

このことについては、昭和62年度に学術情報システム高速デジタル回線を利用した東京一大阪間15大学でのファクシミリモードG4、G3による文献複写物の送受の方法を九州地区でも今後検討していくことになった。

5、第35回全国国立大学図書館協議会への提出議案について

以上の審議から次の2点を6月に神戸で開催される第35回国立大学図書館協会総会への九州地区としての提出議題とすることが決定された。

①学術情報システム構築に対する対応策について ②人事院勧告の「4週6休制」に関するいわゆる「閉庁方式」に対する図書館サービスのあり方について

6、次期役員館の選出について

7、九州地区国立大学協議会当番館について

昭和63年度国立大学図書館協議会の九州地区役員館は、地区連絡館が九州大学、理事館が福岡教育大学、九州大学。

昭和64年度九州地区国立大学図書館協議会の当番館が九州大学、昭和63年度九州地区大学図書館協議会の国立大学図書館部会として表彰委員館に佐賀医科大学、琉球大学を承認した。



第18回九州地区国立大学図書館協議会(パシフィックホテル沖縄)

第39回九州地区大学図書館協議会は、4月22日9時から琉球大学大学会館で行われた。協議題は1、国際化における大学図書館の対応について 2、ファクシミリによる図書館相互協力一文献調

査および文献複写依頼について一について数館から現状説明が行われ、質疑応答があった。

なお今回オブザーバーとして出席していた鹿屋体育大学(国立)、九州共立大学、筑紫女学園大学・同短期大学、宮崎産業経営大学(以上、私立)の4大学の新規加入が認められた。

また、13:00から本学理学部教授木崎甲子郎先生による、「琉球列島はどうして島になったか」という演題で、約1時間半にわたり、スライドを投影しながらの興味深い講演があった。

21日の晩6時から、パシフィックホテル沖縄で懇親会がもたれ、終始和やかな中、沖縄の銘酒泡盛と琉球料理に舌つづみをうち、琉球舞踊を観ながら、楽しい一時を過ごした。



第39回九州地区大学図書館協議会(琉球大学大学会館)

〈図書館業務電算化通信 No 8〉

図書館でも NACSIS-IR が利用できるようになりました

東京にある学術情報センターの情報検索サービス NACSIS-IR (National Center for Science Information System - Information Retrieval service) が琉球大学付属図書館でも 5月25日より利用できるようになりました。既に各学科や講座などあてに「利用の手引」等も配布してありますので利用されている方もありますが、このたび図書館でも校費での情報検索の代行サービスを行うことになりました。DIALOG、JOISの情報検索代行サービスと同様に本館では学術情報係(内線2146)、医学分館では分館閲覧係(内線2733、2734)が担当していますので、詳しくはこれらの係にお問合せ下さい。利用出来るデータベースは下記の通りです。

データベース名	データ件数	対象分野・対応抄録誌等
Life Sciences Collection	55万件	生命科学; Biochemistry Abstracts 等に対応
MathSci	12万件	数学; Mathematical Reviews に対応
COMPENDEX	80万件	工学; Engineering Index 等に対応

Ei Engineering Meetings	36万件	工学; 工学。技術関係の会議文献を収録
Harvard Business Review	2100件	経済、経営;
ISTP & B	90万件	工学; Index to Scientific Book Contents 等に対応
EMBASE *	25万件	医学; Excerpta Medica に対応
SciSearch *	60万件	自然科学; Science Citation Index に対応
Social SciSearch *	13万件	社会科学; Social Science Citation Index に対応
A & H Search *	12万件	人文科学; Arts & Humanities Citation Index に対応
JPMARC	68万件	日本国内で発行された図書の書誌情報を収録
LCMARC (Books)	230万件	主として英文の図書の書誌情報を収録
LCMARK (Serials)	27万件	欧文雑誌の書誌情報を収録
目録所在情報データベース書誌 (和雑誌)	4 万件 所蔵 100万件	我が国の大学図書館等に所蔵されている和文の学術雑誌の書誌、所蔵状況を収録
目録所在情報データベース書誌 (洋雑誌)	9 万件 所蔵 62万件	我が国の大学図書館等に所蔵されている欧文の学術雑誌の書誌、所蔵状況を収録
科学研究費補助金研究 成果概要データベース	13,340件	文部省の科学研究費補助金により行われた研究の研究 成果報告概要のデータベース
学位論文検索データベース	21,350件	国内約130大学で授与される博士学位論文の検索
学会発表データベース第一系 * (電機・情報・制御関連)	2 千件	電気・情報・制御関連の学会の全国大会、研究会の概 要のデータベース
データベースディレクトリ *	5 百件	大学等で作成提供中のデータベースのディレクトリ

(* 印はサービス予定)

データベース利用料金はMARC、目録所在情報のデータベースを除いて一律に1分ごとに50円とヒット件数1件ごとに13円を合計した金額です。MARC、目録所在情報のデータベースはデータベースを呼出すごとに30円です。図書館での代行サービス利用の場合には通信料金は当分の間は、図書館が負担します。NACSIS-IR は N-1ネットあるいは公衆回線を使って個人でも利用できます。その場合には私費での利用も可能です。詳しくは「利用の手引」をご覧ください。(学術情報係)

図書館業務電算化日録

昭和63年2月～5月

- 2月10日(水) 運用連絡班会議(第8回)
- 17日(水) 運用連絡班会議(第9回)
- 24日(水) 運用連絡班会議(第10回)
- 3月3日(木) 運用連絡班会議(第11回)

- 7日(月) 情報処理センター運営委員会
 9日(水) 運用連絡班会議(第12回)
 16日(水) 運用連絡班会議(第13回)
 3月23日(水) 運用連絡班会議(第14回)
 30日(水) 運用連絡班会議(第15回)
 情報処理センター電算機機種更新(M360→M760/8)
 電算室NLP入替え(F6718C→F6715E)
 4月 利用者データ等年次更新
 6日(水) 運用連絡班会議(第1回)
 13日(水) 運用連絡班会議(第2回)
 20日(水) 運用連絡班会議(第3回)
 27日(水) 運用連絡班会議(第4回)
 28日(木) 図書館業務電算化委員会(第1回)(電算化概要、電算機研修他)
 5月11日(水) 運用連絡班会議(第5回)
 富士通講習会「コンピュータ入門」(参加者: 辺土名、栄野川)
 17日(火) 富士通講習会「新規ユーザのためのKシリーズ紹介」(参加者: 松原、本郷)
 27日(水) 運用連絡班会議(第6回)

外国大学案内カタログコーナーの案内

開かれた大学、大学の国際化ということばは、現在の日本の教育の置かれている閉塞的な状況乗り越え、風通しのよい学校、風通しのよい学校制度をつくるための一つの灯のような響きをもっているように感じられます。具体的には人的交流を伴う学術、研究内容面での交流が第一の目的ですが、その特定学問分野にもたらず実績の他に、異なった文化、社会システムの交流、共存を通して、異文化への理解と自国の文化への客観的な見直しを行なうという文化人類学的な意味をも含んでいることは目にみえるメリットでないだけに忘れられがちなようです。

琉大図書館では、年々増加する研究者、学生のニーズ、そしてそうした21世紀へとつながる本学のスローガンを反映すべく、国連・ECなどの国際資料の充実をめざしていますが、このたび留学を考える人たち、外国の学校制度に興味をおもちの方々、あるいは現在琉大に留学中の方々のために、世界のさまざまな大学の学校案内カタログをとりよせることになりました。現在、アメリカ、イギリス、オーストラリアに依頼した116大学のうち以下の54校から資料が送付されてきています。学部、レベルなどはさまざまです。アジアからの留学生受入人数の比較的多い大学および学生数5,000人以上の大学を選びました。外国の大学は宣伝のためもあるか、カラフルで美しいカタログが多いようです。3階雑誌室のカタログコーナーに配架してありますので自由に閲覧できます。なお近く中国や東南アジアの各大学にも依頼を計画しています。(参考調査係)

List of Foreign University Catalogues

§Australia

1. Australian National Univ.
2. Univ. of Melbourne
3. Univ. of Queensland
4. Univ. of Sydney

§United Kingdom

1. Univ. of Bristol
2. Univ. of Leeds
3. Univ. of Liverpool
4. Univ. of London
5. Univ. of Manchester
6. Open Univ.
7. Univ. of Oxford
8. Univ. of Reading

§United State of America

1. Adams State College
2. Bowdoin College
3. Brandeis Univ.
4. Bucknell Univ.
5. California State Univ. San Bernadino
6. Central Missouri State Univ.
7. The City College/CUNY
8. City Univ. of New York
9. Clarkson Univ.
10. Colby College
11. Connecticut College
12. College of the Holy Cross
13. Ferris State College
14. Univ. of Guam
15. Hamilton College
16. Kalamazoo College
17. Lafayette College

18. Lawrence Institute of Technology
19. Massachusetts Institute of Technology
20. Univ. of Michigan
21. Univ. of Montana
22. Univ. of Nebraska-Lincoln
23. New College of the Univ. of South Florida
24. Northwestern Univ.
25. Northern Michigan Univ.
26. Oklahoma Baptist Univ.
27. Pikevill College
28. Reed College
29. Rensselaer polytechnic Institute
30. Univ. of Rochester
31. Smith College
32. South West Missouri State Univ.
33. Southwest Baptist College
34. Stanford Univ.
35. Stevens Inst. of Technology
36. Trinity College
37. Tufts Univ.
38. Union College
39. Vassar College
40. Univ. of Virginia
41. Worcester Polytechnic Institute

基地内英文資料

極東最大の米軍基地といわれている嘉手納基地内で作成された研究レポートを収集した。アメリカ商務省の一機関であり、アメリカ政府が実施した各種の研究レポートおよび逐次刊行物の発売元であるNTIS (National Technical Information Service - 米国科学技術情報サービス局) のデータベースから、嘉手納基地内関係資料を(株)三菱総合研究所がDIALOGオンライン情報検索システムにより検索し、打出したものである。

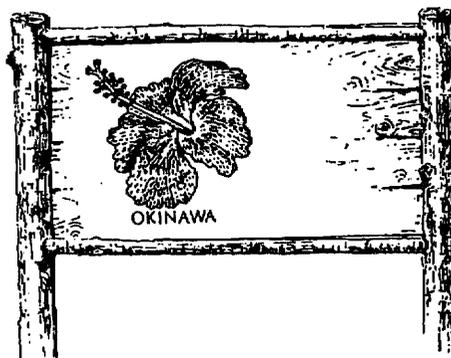
記事内容は各種にまたがっている。台風の発生記録、航空機事故、ダニや蚊など衛生昆虫の研究、軍内伝染病記録、兵隊の適応やストレス、地下道の振動調査など90点のレポートが納められている。

1. Okinawa: A Strategic Analysis.
2. Prediction of Typhoon-Induced Peak Winds at Four Pacific Stations.
3. Dermacentor (Indocentor) Taiwanensis (Acari : Ixodoidea : Ixodidae)
4. Command and Control Considerations for Field Army Operations.
5. Sedating and Nonsedating Sleeping Aids in Air Operations.
6. Let Lag in Military Operations : Field Trial of L-Tryptophan in Reducing Sleep-Loss Effects.
7. Seroepidemiological Evidence of Infectious Diseases in United States Marine Corps Personnel Okinawa, Japan, 1975-1976
8. An Evaluation of the Bird/Aircraft Strike Hazard at Selected Pacific Air Force (PACAF) Installations.
9. An Evaluation of the Harbors of Buckner Bay and Naha, Okinawa as Typhoon Havens.
10. Map Type Catalog for the Okinawa Window.
11. Cruise Report, INDOPAC Expedition, Legs 4, 5, 6, 7, and 8
12. Summary of Meteorological Observations, Surface (SMOS), Futenma, Okinawa.
13. Compilation of Radiometric Ages from the Ryukyu Arc Region.
14. ONR Tokyo Scientific Bulletin, Volume 4 Number 2 April-June 1979. Contents:
15. Annual Research Progress Report, FY 1974. Contents:
16. Naha AB, Okinawa, Japan, Revised Uniform Summary of Surface Weather Observations (RUSSWO) Parts A-F
17. The Battle for Leyte Gulf, October 1944. Strategical and Tactical Analysis. Volume I
18. U. S. Navy and Marine Corps Meteorological Station Climatic Summaries.
19. Radiometric Ages from Ryukyu Arc Region and AN40Ar139Ar Age from Biotite Dacite on Okinawa.
20. Terminal Forecast Reference Notebook, Detachments, First Weather Wing, Kadena AB, Okinawa (Japan)

21. Occurrence of Typhoons/Tropical Storms (1949-1969) at Selected Locations (Updated through 1977 for Six Pacific Bases)
22. Corrosion Predictability in F-4 Aircraft Assigned to the Pacific Air Forces.
23. Test of the Application of the TYWAVES Model to Prediction of Swell in the East China Sea from Three/Tropical Cyclones in the Western North Pacific.
24. Ticks of Japan, Korea, and the Ryukyu Islands. Volume 15, Number 1.
25. A Study of Marine Corps Transfers : Expectations, Work Stress, Norms, and Information Sources.
26. Forecast Aids for Predicting Tropical Cyclone Associated Gusts and Sustained Winds for Agana, Hong Kong, Kadena and Misawa.
27. Department of Defense Survey of Living Conditions Overseas, 1984. Volume 1. Management Report.
28. Department of Defense Survey of Living Conditions Overseas, 1984. Volume 2. Results.
29. Department of Defense Survey of Living Conditions Overseas, 1984. Volume 3. Responses.
30. Kadena AB, Japan. Revised Uniform Summary of Surface Weather Observations (RUSS-WO). Parts A-F
31. Predictive Model of Transfer Adjustment in the U. S. Marine Corps.
32. Wind Probabilities and Tropical Cyclone Readiness Conditions.
33. Skipjack Tuna Subpopulation Identified by Genetic Characteristics in the Western Pacific.
34. Range of the Skipjack Tuna Subpopulation in the Western Pacific Ocean.
35. Status of the Precious Coral Industry in Japan, Taiwan, and Okinawa : 1970
36. Truk Live-Bait Survey.
37. IHI (Ishikawajima-Harima Heavy Industries) Engineering Review, Special Issue No.7, Gates and Penstocks, March 1985
38. Microwave Terrestrial Link Rain Attenuation Prediction Parameter Analysis.
39. Transition Socialization Processes in the U. S. (United States) Marines.
40. Aircraft Accident Report. Flying Tiger Line, Inc., Douglas DC-8-63F, N785FT. Naha Air Base, Okinawa, Ryukyu Islands. July 27, 1970.
41. Individual Identification, Behavior, Reproduction, and Distribution of Humpback Whales, "Megaptera Novaeangliae", in Hawaii.
42. Defense Against Kamikaze Attacks in World War II and Its Relevance to Anti-Ship Missile Defense. Volume I.
43. Inventory Control of Army Non-Combat Essential Items.
44. PACOM Base Structure, 1975-1985
45. The Enclave Concept--Is Okinawa Potentially a Guantanamo. (A Comparative Analysis)
46. Mosquitoes and Agriculture on Okinawa.

47. Seasonal Abundance of Mosquito Larval Counts and Adult Light Trap Catches in Okinawa.
48. Correlation of Laboratory Results in the Army Spectrometric Oil Analysis Program.
49. Annual Profiles of Ten Common Species of Adult Mosquitoes Collected in Light Traps on Okinawa for the Period 1965-1970.
50. Is Micronesia Suitable Alternative for Okinawa.
51. The Ryukyu Islands -- Investment in Security or Political Liability.
52. Climatology of Instantaneous Precipitation Rates.
53. Female Culicoides of Okinawa with Descriptions of New Species (Diptera : Ceratopogonidae)
54. Presence of Erabutoxins a and b in Venom of the Sea Snake Laticauda Semifasciata from Taiwan.
55. Physiologic Cost of Prolonged Double-Crew Flights in C-5 Aircraft.
56. Haemaphysalis (H) Pentalagi Pospelova-Shtrom, a Parasite of the Japanese Black Rabbit.
57. The Question of Revising the 1960 U. S. -Japan Security Treaty and Possible Effects on U. S. Foreign and Defense Policy in Asia.
58. The Impact of Shifting Our Strategic Base from Okinawa to Micronesia.
59. Okinawa : An Essential Base.
60. Transequatorial "F" Layer Study.
61. Attitudes of Troops in the Tropics. Volume Three. Data Collection Instruments.
62. Historical Analysis of Wartime Replacement Requirements: Experience for Selected Major Items of Combat Equipment. Volume II.
63. Transequatorial F-Layer Propagation Study.
64. Lessons Learned, Headquarters, Fort Buckner.
65. Lessons Learned, Headquarters, United States.
66. Lessons Learned, Headquarters, United States Army, Ryukyu Islands.
67. Attitudes of Troops in the Tropics. Volume One Equipment and Situational Evaluations.
68. Attitudes of Troops in the Tropics. Volume Two Methodological Implications.
69. Military Geology of the Miyako Archipelago Ryukyuretta (U) Part III. Tactical Aspects.
70. Lessons learned, Headquarters, 2D Logistical Command.
71. Analysis of the Marine Corps Fifth Echelon Repair/Rebuild Program.
72. Typhoon Weather Models. Kaddena Ab, Okinawa
73. Lessons Learned, Headquarters, US Army, Ryukyu Islands.
74. Historical Analysis of Wartime Replacement Requirements: Experience for Selected Major Items of Combat Equipment. Volume I.
75. The Operational Validation of the Curts Concept Using 2400-Baud Autodin.
76. Attitudes of Troops in the Tropics.

77. Comparison of HF Propagation Predictions and Oblique-Incidence Observations on the Okinawa/Oahu Circuit.
78. Lessons Learned, Headquarters, 30TH Artillery Brigade (Ad).
79. Lessons Learned, Headquarters, 2d Logistical Command.
80. Lessons Learned, Headquarters, United States Army, Ryukyu Islands.
81. Guam "Cornerstone" of US Strength in the Pacific.
82. Storage Temperature of Explosive Hazard Magazines. Part 3. Okinawa and Japan.
83. Optimal Allocation of Pacific Fleet Patrol Aircraft Among Selected Deployment Sites.
84. Lessons Learned, Headquarters, 2d Logistical Command.
85. Lessons Learned, Headquarters, 2D Logistical Command.
86. Underway Vibration Survey on the USS Okinawa (Lph-3). A Case Study of Superstructure Vibration.
87. Summary of Synoptic Meteorological Observations. Japanese and Korean Coastal Marine Areas. Volume 4.
88. Review of Common Supply Support Overseas. Volume II. Field Research and Data.
89. Japan: Analytical Bibliography with Supplementary Research Aids and Selected Date on Okinawa, Republic of China (Taiwan) and Republic of Korea.
90. Recurrence of Asian Variant Influenza in the Far East. Report of a 1958 Epidemic in United States Marines on Okinawa.



新着図書案内

総記

1. 情報理論入門 (ノーマン・アブラムソン) 好学社 1969 分類:007.1
2. コンピュータ大百科 (A. ラルストン他編) 朝倉書店 1987 分類:007.63
3. 本をつくる者の心 (藤森善貢) 日本エディタースクール 1986 分類:022

哲学

4. 神と仏 (桜井好朗編) 春秋社 1985 分類:180.8
5. 近代化と伝統 (安丸良夫編) 春秋社 1986 分類:180.8
6. 民俗と儀礼 (宮家準編) 春秋社 1986 分類:180.8
7. 遊行と漂白 (山折哲雄編) 春秋社 1986 分類:180.8
8. 無常と美 (目崎徳衛編) 春秋社 1986 分類:180.8
9. 因果と輪廻 (大隈和雄編) 春秋社 1986 分類:180.8
10. 心霊現象の心理と病理 (C. G. ユング) 法政大学出版社 1982 分類:146
11. 女性の心理 (安田一郎他訳) 誠信書房 1982 分類:146
12. 精神分析の新しい道 (安田一郎訳) 誠信書房 1972 分類:146
13. 心の葛藤 (我妻洋・佐々木譲訳) 誠信書房 1981 分類:146
14. 精神分析とは何か (我妻洋・川口茂雄・西上裕司訳) 誠信書房 1976 分類:146
15. ジャータカ全集 (仲村元補注) 1-3 春秋社 1982-1987 分類:180.8
16. アゴーン (ハロルド・ブルーム) 晶文社 1986 分類:104
17. 近代日本哲学思想家辞典 (伊藤友信他編) 東京書籍 1982 分類:121.9
18. 概説東アジア思想史 (松島隆裕他) 杉山書店 1982 分類:120
19. 世界の思想家 (E. デ・ボノ編) 玉川大学出版部 1982 分類:130
20. 実存論 (佐伯守) 高文堂出版社 1985 分類:115.4
21. 心の研究 (本明寛) 一粒社 1982 分類:140.1
22. 愛のすがた (岡崎公良) 新樹社 1982 分類:150
23. 表現と介入 (イーアン・ハッキング) 産業図書 1986 分類:130
24. ゴロアスター教 (岡田明憲) 平河出版社 1982 分類:169

歴史

25. 日本人の顔 (山折哲雄) 日本放送出版協会 1986 分類:210.1
26. 平安の文化と歴史 東京大学出版会 1982 分類:210.3
27. 中国の自然地理 (任美鏗編著) 東京大学出版会 1986 分類:292.2
28. 政治家田中角栄の敗北 (立花隆) 朝日新聞社 1985 分類:289.1
29. 日本原住民と神武東征 (田中勝也) 新泉社 1982 分類:210.2

30. 中央アジアの探検 (ブルジェワルスキー) 白水社 1982 分類:292
31. ローマ帝国衰亡史 (ギボン著 中野好夫訳) 筑摩書房 分類:232.8
32. 境界の中世象徴の中世 (黒田日出男) 東京大学出版会 1986 分類:210.13
33. 黒船と幕府 (浜屋雅軌) 高文堂出版社 1987 分類:210.58
34. 内藤湖南とその時代 (千葉三郎) 図書刊行会 1986 分類:201.28
35. 私のインド体験 (春日井真也) 百華苑 1982 分類:292.5
36. このインドシナ (井川一久編) 連合出版 1986 分類:223.1
37. ロシア人の日本発見 (S・ズナメンスキー) 北海道大学図書館 1986 分類:291.099

社会科学

38. アジア・ウォッチング (象の会) ダイアモンド社 1987 分類:304
39. 聖峯冥郷 (大林太良他編) 旺文社 1985 分類:389.1
40. アメリカ外交 (細谷千博編) 日本国際問題研究所 1986 分類:319.53
41. 裁判官の法意識 (青木英五郎) 田畑書店 1986 分類:320.8
42. 冤罪とのたたかい (青木英五郎) 田畑書店 1986 分類:320.8
43. 陪審裁判のすすめ (青木英五郎) 田畑書店 1986 分類:320.5
44. 社会的行為 (安田三郎他編) 東洋経済新報社 1980 分類:361
45. 社会過程 (安田三郎他編) 東洋経済新報社 1981 分類:361
46. 社会集団 (安田三郎他編) 東洋経済新報社 1981 分類:361
47. 社会構造 (安田三郎他編) 東洋経済新報社 1981 分類:361
48. 社会変動 (安田三郎他編) 東洋経済新報社 1981 分類:361
49. 老いの人類史 (伊藤光晴他編) 岩波書店 1986 分類:369.26
50. 老いのパラダイム () 岩波書店 1986 分類:369.26
51. 老いの思想 () 岩波書店 1987 分類:369.26
52. 老いを生きる場 () 岩波書店 1987 分類:369.26
53. 老いと社会システム () 岩波書店 1987 分類:369.26
54. 詳解大学への数学 (佐藤義隆他) 東京図書 1986 分類:377.34
55. 現代中国の外交 (A・ドーク・バーネット) 教育社 1986 分類:319.55
56. サブライ・サイド経済学 (小椋正立) 東洋経済新報社 1981 分類:332.53
57. 町の暮しとなりたち (米山俊直、神崎宜武) ぎょうせい 1982 分類:383
58. 村の暮しとなりたち (田村善次郎、香月洋一郎) ぎょうせい 1982 分類:383
59. 海の暮しとなりたち (森本孝他) ぎょうせい 1982 分類:373
60. 地方の王国 (高島通敏) 潮出版 1986 分類:318
61. 活力の構造 (柳田邦男) 講談社 1986 分類:335
62. 髪为社会史 (飯島伸子) 日本評論社 1986 分類:383.5
63. 社会心理学 (W. W. ランバート, W. E. ランバート) 岩波書店 1981 分類:361.5

64. 日本はどうなる (九州大学公開講座委員会編) 1986 分類:379.4
65. 水を考える (九州大学公開講座委員会編)九州大学出版会 1986 分類:379.4
66. 異文化間コミュニケーション入門 (L. A. サモバ他) 聖文社 1983 分類:361.4
67. 法律類語難語辞典 (林大、山田卓生編) 有斐閣 1984 分類:320.3
68. ドイツ家族法 (D. シュヴァブ) 創文社 1986 分類:324.934
69. 経済原論 (大木啓次、水谷謙治) 有斐閣 1986 分類:331
70. 国際経済論 (柳田侃、野村昭夫編) ミネルヴァ書房 1987 分類:333.6
71. 労働法教室 (慶谷淑夫) 労働法令協会 1985 分類:366.1
72. 日本古代政治組織の研究 (八木充) 塙書房 1986 分類:312.1
73. 性と歴史 (ジャン＝ルイ・フランソワ) 新評論 1987 分類:367.6
74. 教育原理 (久保義三) 秀英出版 1976 分類:371
75. 現代余暇の社会学 (松田義幸) 誠文堂新光社 1981 分類:365.7
76. 民事訴訟法 (速水爽) 早稲田経営出版 1986 分類:327.2
77. 日本古代法制史 (利光三津夫) 慶応通信 1986 分類:322.12
78. サマーヒル教師の手記 (ジョン・ポッター) 文化書房博文社 1986 分類:370.4
79. 生活協同組合の経済学 (井田喜久治) 中央経済社 1986 分類:335.66
80. ケースブック財務管理 (鈴木貞彦) 慶応通信 1986 分類:335.96
81. 『日本教育史資料』の研究 (玉川大学出版部) 1986 分類:372.1
82. 愛と家庭と (前田達明) 成文堂 1985 分類:324.55
83. 現代アジア社会の研究 (福永安祥編) 明星大学出版部 1981 分類:362.032
84. 教育心理学 (斎藤幸一郎、並木博編) 慶応通信 1986 分類:371.4
85. ピエール・リヴィエールの犯罪 (ミシェル・フーコー編) 河出書房新社 1986 分類:326.93

自然科学

86. 解析学概論 (池原止戈夫、田中薫) 学術図書出版 1982 分類:413
87. 数学の方法 (弘瀬健他) 共立出版 1982 分類:410.1
88. 数学屋のうた (野崎昭弘) 白揚社 1982 分類:410.4
89. 楽しく学ぶ線型代数 (飯高茂他) 1987 分類:412.3
90. 固体と地球のレオロジー (唐戸俊一郎、鳥海光弘編) 東海大学出版会 1986 分類:428.4
91. 物理学 (尾林見部他) 東京電機大学出版局 1986 分類:420
92. プラズマ加熱基礎論 (高村秀一) 名古屋大学出版会 1986 分類:427.7
93. 基礎分析化学 (松本嘉夫) 内田老鶴圃 1984 分類:433
94. 現代化学入門 (ユージン・メーヤー) 九州大学出版会 1986 分類:430
95. 分析化学 (長島弘三、富田功) 裳華房 1985 分類:433

96. 物理化学実験法 (増田勇三、野村浩康編) 東京理科大学出版会 1986 分類:431
97. 実験有機合成化学 (右田俊彦編著) 裳華房 1986 分類:343.9
98. 分析化学実験 (川部光雄編) 裳華房 1986 分類:433
99. 地球科学への招待 (浜田隆士) 東京大学出版会 1986 分類:450
100. 見る地震 (笠原順三、田中一実) 東京大学出版会 1986 分類:453
101. 海洋微生物研究法 (門田元、多賀信夫編) 学会出版センター 1985 分類:452.16
102. 海はだれのものか (西尾建) リサイクル文化社 1982 分類:452
103. 日本暦西暦月日対照表 (野島寿三郎編) 日外アンシェーツ 1987 分類:449.3
104. 新総観気象学 (松本誠一) 東京堂出版 1987 分類:451
105. 地震前兆現象 (力武常次) 東京大学出版会 1986 分類:453
106. 気象と環境 (エム・イ・ブディコ) 古今書院 1983 分類:451.9
107. 地球環境の化学 (北野康) 裳華房 1984 分類:450.13
108. 海岸動物 (益田一他編) 東海大学出版会 1986 分類:452.16
109. 日本気象環境図表 (西内光、桑田晃編) 保育社 1987 分類:451.91
110. 遺伝子と生物学 (竹内拓司、大羽滋編) 朝倉書店 1986 分類:467.7
111. なわばりの生態学 (長谷川政美、種村正美) 東海大学出版 1986 分類:480.8
112. 独居から不平等へ (坂上昭一、前田泰生) 東海大学出版会 1986 分類:480.8
113. 狩りバチの社会進化 (伊藤嘉昭) 東海大学出版会 1986 分類:480.8
114. 鳥類の繁殖戦略 (山岸哲編) 東海大学出版会 1986 分類:480.8
115. 屋久島の野生ニホンザル (丸橋珠樹他) 東海大学出版会 1986 分類:480.8
116. 道具の起源 (北原隆、乗越皓司) 東海大学出版会 1986 分類:480.8
117. ホタルのコミュニケーション (大場信義) 東海大学出版会 1986 分類:480.8
118. フィッシュ・ウォッチング (林公義他) 東海大学出版会 1986 分類:487.5

産 業

119. 企業簿記概論 (菊地和聖編) 森山書店 1986 分類:679.6
120. 企業会計論 (平井克彦編) 白桃書房 1986 分類:679.01
121. 批判会計学の展開 (敷田礼二、山口孝編) ミネルヴァ書房 1987 分類:679.01
122. 樹木根系図説 (苅住 昇) 誠文堂新光社 1987 分類:652.7
123. 海と海をつなぐ道 (デーヴィッド・マカルー) フジ出版社 1986 分類:684
124. 海のシルクロード (藤本勝次他) 大阪書籍 1982 分類:683.2

芸 術

125. 生体廃墟論 (伊藤俊治) リプロポート 1986 分類:704
126. 日本現代演劇史 (大笹吉雄) 白水社 1985 分類:772.1
127. 映画学から映像学へ (岡田晋) 九州大学出版会 1987 分類:778

文学

- 128. 奴隷の寓話 (小島信夫) 潮出版社 1981 分類:910.28
- 129. 詩的言語序説 (小田良弼) 臨川書店 1982 分類:901.1
- 130. 日本文学交流史の研究 (木村毅) 恒文社 1982 分類:901.9
- 131. D. H. ロレンスの詩 (飯田武郎) 九州大学出版会 1986 分類:931
- 132. 批評のはじまり=「うた」への架橋 (佐藤蟬三) あるむ 1986 分類:911.16
- 133. 美を見し人は (小松伸六) 講談社 1981 分類:914.6.
- 134. 現代ビルマ短編小説集 (大野徹編訳) 井村文化事業社 1983 分類:929.29
- 135. ワーズワースとラスキン (並河亮) 原書房 1982 分類:930.28
- 136. 紀貫之伝の研究 (村瀬敏夫) 桜楓社 1981 分類:911.132

図書館事情

〔出張〕

昭和63年3月8日(火) 整理課長 橋本健一

中国資料及び図書館業務電算化の調査、名古屋、東京・11日まで

昭和63年3月8日(火) 受入係 赤嶺久夫

図書館業務電算化(受入業務)の研修、名古屋、福岡・11日まで

昭和63年3月9日(水) 事務部長 重松多喜造

文部省事務打合せ、東京・11日まで

昭和63年3月23日(水) 総務係長 照谷浩一、学術情報係 金城守

図書館電算化(I L I S関係)及び図書館建築についての調査、松山・25日まで

昭和63年3月23日(水) 分館閲覧係 伊佐真一

ビデオセミナー参加、東京・25日まで

昭和63年4月5日(火) 受入係 榮野川敦

昭和63年度沖縄地区新採用職員研修、人事院沖縄事務所・8日まで

昭和63年5月9日(月) 情報管理課長 橋本健一

昭和63年度国立学校等幹部職員研修(課長級)及び図書館業務電算化の調査、東京、大阪・17日まで

昭和63年5月23日(月) 事務部長 重松多喜造、情報サービス課長 山田勉

昭和63年度国立大学附属図書館事務部課長会議、東京・25日まで

〔人事異動(昭和63年4月1日付)〕

前整理課総務係長:照谷浩一 (学生部厚生課課長補佐へ)

整理課総務係長：大城弘安（前庶務部人事課任用係任用主任）
前整理課総務係：玉城 実（国立沖縄青年の家へ）
整理課総務係：知念 勝（前整理課受入係）
整理課受入係：比嘉光治（前教養部学務係）
前整理課受入係：平田 武（農学部演習林係）
前整理課受入係：棚原淳治（教育学部会計係へ）
整理課受入係：坂下和也（前教育学部会計係）
前整理課医学部分館整理係：垣花るり子（短期大学部会計係へ）
整理課医学部分館整理係：伊佐真一（前閲覧課医学部分館閲覧係）
閲覧課医学部分館閲覧係：新垣美津子（前医学部医事課外来係）

〔その他〕

昭和63年4月8日付けで次のとおり課の名称が変わりました。

整理課→情報管理課

閲覧課→情報サービス課

ブラウジング・コーナー

ワードプロセッサ

普通ワープロと称しているものだが、私のような字の下手なものにとっては、非常に便利なものができたものである。字の達者な方々からみれば味気ないものであろうが、私にとっては字を習うよりワープロを練習した方が早道のような気がする。ワープロミスという言葉がある。それはワープロでの打ち損ないによる誤りをいうのだが、ワーミスとも言うらしい。プロミスと略してもよさそうだが、この方は良く借金する人達の間で通用している。このワーミスで人名を打ち間違えると大変だが、更に悪いのは「使者」を「死者」と打って簡単に人を殺すことなどがあるので恐ろしいところもある。（情報サービス課 T.Y）

図書館運営委員会委員名簿

昭和62年4月1日付で、図書館運営委員会委員が変わりました。

委員は次のとおりです。

昭和62年 4月1日現在

部 局	職 名	専 攻	氏 名	任 期
図 書 館	館 長	英 文 学	米 須 興 文	自昭和62年10月1日 至昭和64年9月30日
医学部分館	分館長	外科学第二座 講	草 場 昭	自昭和63年4月1日 至昭和65年3月31日
法文学部	助教授	東洋史学	都 築 晶 子	自昭和63年4月1日 至昭和65年3月31日
◇	教 授	社会政策 及び経済史	松 田 賀 孝	自昭和62年4月1日 至昭和64年3月31日
教育学部	助教授	器 楽	永 山 哲 男	自昭和63年4月1日 至昭和65年3月31日
◇	教 授	代数学及び 幾何学	前 原 潤	自昭和62年4月1日 至昭和64年3月31日
理学部	教 授	生理生化学	池 原 規 勝	自昭和63年4月1日 至昭和65年3月31日
◇	助教授	分析化学	平 良 初 男	自昭和62年4月1日 至昭和64年3月31日
医学部	教 授	保健技術学座 講	島 田 勝 政	自昭和62年7月16日 至昭和63年9月30日
◇	教 授	内科学第一座 講	齊 藤 厚	自昭和62年10月1日 至昭和64年9月30日
工学部	助教授	電気基礎学 工	山 城 康 正	自昭和63年4月1日 至昭和65年3月31日
◇	教 授	土質工学及 び衛生工学	上 原 方 成	自昭和62年4月1日 至昭和64年3月31日
農学部	助教授	畜産物利用学・ 草地学	本 郷 富 士 弥	自昭和63年5月1日 至昭和65年4月30日
◇	助教授	土壌学及び 植物栄養学	渡 嘉 敷 義 浩	自昭和62年4月1日 至昭和64年3月31日
教養部	助教授	数 学	高 久 章	自昭和63年4月1日 至昭和65年3月31日
◇	教 授	文 学	仲 程 昌 徳	自昭和63年4月1日 至昭和65年3月31日
短期大学部	助教授	政 治 学	天 児 慧	自昭和63年4月1日 至昭和65年3月31日
◇	助教授	機械材料及 び機械工作	屋 良 秀 夫	自昭和63年4月1日 至昭和65年3月31日

医学部分館コーナー

〔第21回運営委員会〕

日 時：昭和63年5月24日（火） 16：00～17：30

場 所：医学部分館 会議室

議 題：1. Current Contents 誌 (Life Sciences, Clinical Medicine) に収録されているコ アー
ジャーナルの選定及び現在購入中コアジャーナルで収録されていないものの取扱いについて。 2.
医学科大学院設置に伴う昭和64年度購入コアジャーナルの選定について。 3. 医学教育研 修マ
ニュアル参考書の選定について

報告事項：1. 昭和63年度雑誌費について 2. 医学科、保健学科新入生オリエンテーションにつ
いて 3. 情報検索のオリエンテーションについて 4. その他

〈オリエンテーション〉

昭和63年4月7日（木） 午前11：20～12：00 医学部新入生の分館利用オリエンテーション

昭和63年5月9日（月） 午前9：00～10：30 情報検索のオリエンテーション

対象 精神神経科研修医（受講7人）

昭和63年5月19日（木） 午後1：10～15：00 情報検索のオリエンテーション

対象 昭和63年度入学医学科大学院生 7人

〈教官著作寄贈図書〉

昭和63年3月から5月までにご寄贈いただいた分を掲載します。

石島 英（短期大学部） 「台風学のすすめ」 新星図書出版 1988

猪狩 淳（保健技術学） 「検査データと病気」 宇宙堂八木書店 1983

砂川隆二（第2内科）学位論文「ストレプトゾトシン糖尿病ラット摘出灌流心臓に対するアドレ
ナリン作動薬の作用」 鹿児島大学 昭和63年

〈ビデオテープ資料案内〉

A I D S ①基礎編 V162 , A I D S ②臨床編 V163

〈新着図書案内〉

1. 中日英医学用語辞典 中日英医学用語辞典刊行会 1986 分類：R-W 13
2. 最新医用材料開発利用便覧（妹尾学 大井修編）R&D プランニング 1986 分類：R-W26
3. 最新医学大辞典 医歯薬出版 1987 分類：R-W 13
4. バイオ&メディカル大辞典 和英編 英和編 アイピーシー 1987 分類：R-W 13
5. 医師のため新しい医療機器（大島正光編）科学新聞社 1987 分類：R-W 26

6. 食品添加物公定書解説書 広川書店 1987 分類：R-W 712
7. デヴリン生化学 1、2 Devlin, Thomas M. 上代淑人監訳 啓学出版 1987 分類：
R-W Qu4
8. 法医学（松倉豊治編）永井書店 1987 分類：W 700
9. 超音波血流検査法（金子仁郎 白石純三編）永井書店 1987 分類：WG 106
10. 医療薬日本医薬品集 1987（日本医療情報センター編）薬業時報社 1987 分類：R-QW
722
11. WHO世界健康百科 1～10（奥田東 岡本道雄 総監修）同朋舎出版 1985-86 分類：
R-WB 120
12. 微生物学用語小事典（高橋昌巳編）医学出版社 1987 分類：R-QW 13
13. 輸液療法小事典 越川昭三ほか 永井書店 1987 分類：R-WB 354
14. Oxford textbook of medicine, ed. by D.J. Weatherall et al. Oxford University Press, c1987 分
類：WB 100
15. Guide to reference books, ed. by Eugene P. sheehy. 10th ed. American Library Asso-
ciation, c1987 分類：R-028

〈お知らせ〉

夏季休業中の開館時間及び長期貸出について（本館、医学部分館）

開館時間 7月8日（金）～8月31日（水）

月～金 08：30～17：00

土 08：30～12：30

長期貸出 6月28日（火）～8月31日（水）

（返却期限 9月10日）

一般図書貸出冊数は下記のとおり変更になります。

学生 7冊（5冊を）

院生、研究生 15冊（10冊を）

注； 医学部分館も含めた冊数

琉球大学附属図書館報 “びぶりお” 第21巻 第2号 [通巻第79号]

昭和63年6月20日 発行

発行 琉球大学附属図書館 沖縄県西原町千原1番地

電話（09889）5-2221 内線（2143） 編集 びぶりお編集委員会